

企画: 菊池 裕(千葉県立保健医療大学)、大屋 賢司(国立医薬品食品衛生研究所)

運営: 内田 和之(バイオメリュー・ジャパン(株))、梶浦 工(吉田製薬(株))

菊野 理津子(日本防菌防黴学会会長・(一財)北里環境科学センター)、竹下 朱美(TOTO(株))

【目 次】

開講の辞 一本シンポジウムの果たす役割— (9:40~9:45)

日本防菌防黴学会会長 菊野 理津子

座長: 菊池 裕(千葉県立保健医療大学)

1. 第十九改正日本薬局方に関する話題(9:45~10:30)

1

(独)医薬品医療機器総合機構 三ツ木 元章

2. 紅麹を含む食品による健康被害の原因と対策について(10:30~11:15)

13

国立医薬品食品衛生研究所 吉成 知也

座長: 竹下 朱美(TOTO(株))

3. 手指衛生と環境衛生における消毒薬の適正使用(11:15~12:00)

18

吉田製薬(株) 梶浦 工

4. 医療環境・水回りにおけるバイオフィルムの形成と制御 (13:00~14:30)

コーディネーター 大屋 賢司(国立医薬品食品衛生研究所)

4-1 気管挿管チューブ等の医療機器におけるバイオフィルム

26

明治薬科大学 鴨志田 剛

4-2 医療排水中の薬剤耐性菌と配管内バイオフィルムの影響

31

国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所薬剤耐性研究センター 鈴木 仁人

4-3 水まわり環境におけるバイオフィルム

32

TOTO(株) 西野 駿佑

4-4 総合討論

5. 日本薬局方参考情報収載を見据えた *in vitro* 発熱性物質試験としての単球活性化試験法

(14:40~16:10)

コーディネーター 林 克彦(国立医薬品食品衛生研究所)

5-1 PyroMAT®システムを用いた単球活性化試験とウサギ発熱性物質試験との検出感度の比較 36

メルク(株) 木村 晃一

5-2 ルシフェラーゼレポーターアッセイを用いた MAT 試薬 LumiMAT™ について 41

富士フイルム和光純薬(株) 七尾 友久

5-3 不死化ヒト単球細胞株「aMylc」から「aMylc-Z」への進化がもたらす迅速・高精度 MAT 48

マイキャン・テクノロジーズ(株) 平野 大祐

5-4 総合討論

座長: 内田 和之(バイオメリュー・ジャパン(株))

6. 医薬品受託分析サービスと新施設(医薬分析棟)の紹介(16:10~16:40)

54

(一財)日本食品分析センター 山崎 健一

閉会の辞 ーシンポジウムを統括して(16:40~16:45)

千葉県立保健医療大学 菊池 裕